

令和6年度第2回水と緑の森づくり会議（R7.3.12） 意見概要

- 川上委員（部門：公募）
- 吾郷委員（部門：木材利用）
- 梶谷委員（部門：担い手）
- 坪倉委員（部門：地域活動）
- 大辻委員（部門：森林経営）
- 阿川委員（部門：教育）

（1）水と緑の森づくり事業の制度及び実績について

- ・意見なし

（2）令和7年度県民参加の森づくり事業の取組内容に関する意見交換について

- ・木製遊具の製作や植樹など提案団体や参加者にとって印象に残るだろうと感じる提案があった。このような活動が増えるといいと思う。
- ・松枯れ跡地の整備は、安全面や景観対策として必要だと感じた。
- ・活動の様子を映像に残して SNS などで発信すると面白いと思った。
- ・継続的に取組む団体が多く素晴らしいと思った。
- ・近いエリアの団体間で横のつながりが強化されると良いと感じた。
- ・桜などをからめた提案は発信がしやすく、工夫されているなど感じた。
- ・採択団体の意見交換や交流があると新たな発見があるかもしれない。
- ・幅広い年齢層へ発信するため、紙ベースと SNS 両方活用すると良いと思った。
- ・森を保全する取組みと併せて地区の歴史を勉強する取組みは、参加者にとって地元への愛着のわく良いきっかけになると思った。